温暖化防止ながれやまだより

第３号　　平成 23 年９月号

温暖化防止ながれやま
代表：平手　　彰
（流山市こうのす台 629-46）
編集：石垣　幸子

春田育男の見たスイスの氷河

2011-6-22　ローヌ氷河（スイス）
撮影：春田育男

かつてここは一年中、一面に白い氷河に覆われていたところである。大沢崩れ？と見間違うこの風景に絶句であった。こんなにも地球温暖化は進んでしまったのだ。今、氷河溶解はスイス、ヒマラヤなど主な氷河だけでなく、北極や南極の氷山もどんどんと融解が進んでいる。氷河や氷山が解けることにより海面が上昇する。すでに海面上昇による深刻な被害を受けている南太平洋の島国ツバルでは、全国民の移住を決定したという。

氷河融解だけでなく、世界中で温暖化による深刻な影響が起こっている。世界中の各地で異常気象による洪水や集中豪雨が多発する地域がある一方、渇水や干ばつで深刻な水不足に苦しむ地域もある。その地域、地域に適合した動物や植物も生息地やエサ求めて移動しなければならない。気候の変化に追いつくことのできない動植物は絶滅の危機に瀕している。熱帯に棲む昆虫が温帯地方に見られるようになり、マラリア、デング熱などの伝染病が温帯地方にも広がり始めている。

日本もこの夏も暑い！熱中症患者続出！と毎日紙面を賑わしている。

地球温暖化って何？

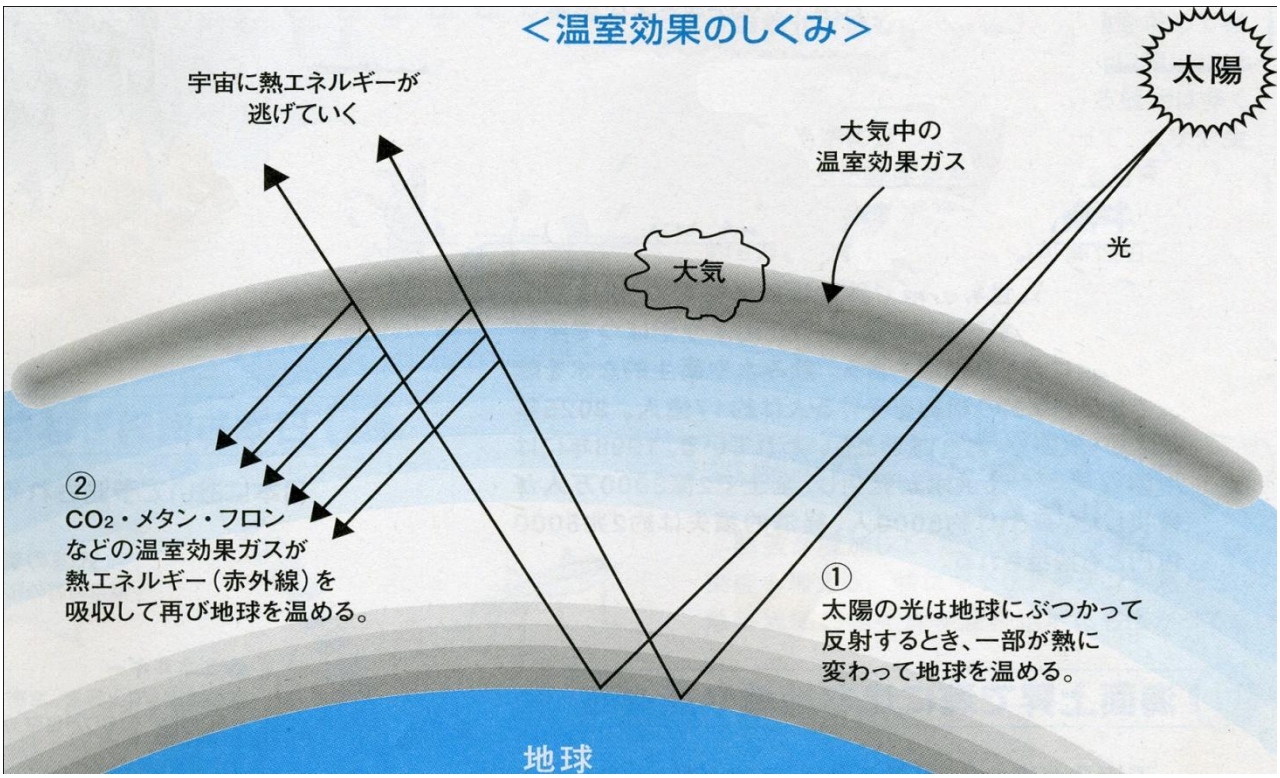
「地球温暖化」って何

地球の表面温度は地球に入ってくる太陽エネルギーと、宇宙へ出ていく熱エネルギーとのバランスで決まるのである。地球の大気の中にある「温室効果ガス（CO2)」はもともと太陽エネルギーの一部を閉じ込め生物にとって快適な地球上の温度を保つのに役立っている。地球の平均気温は約15℃で、約 1 億種もの生物が生息している。地球にこんなにたくさんの生命が居るのは、「適度な温室ガス」のおかげです。

ところが 18 世紀以降、産業活動が活発となり、私たちは便利さや快適を求めて大量生産、大量消費、大量廃棄の暮らしを続けてきた。この快適な生活も化石燃料に支えられている。この大量の化石燃料消費の結果、大気中の CO2 が急上昇し、地球温暖化が引き起こされた。

化石燃料とは石油、石炭、天然ガスなど、太古の動植物が地中で数百万年かけて生成されたもので、この化石燃料は燃やすことにより多くの CO2 を排出する。私たちの周りには、人間が呼吸するだけでも多少の CO2 を排出している。CO2 は悪者ではない、
「過ぎたるは及ばざるがごとし」である。温暖化を防ぐには化石燃料などのエネルギー消費を控えることが大切である。

地球温暖化に伴う影響が既に出始めている。宇宙船地球号に乗船している乗客の私たちは、今すぐ生活を見直し、この大切な地球号を持続可能な宇宙船としなければならない。いま、わが国は CO2 を排出しない、安全だと宣伝され、各地に設置された原子力発電炉の再稼働が課題となっている。「8 月 23 日、アメリカバージニア州でマグニチュド（M） 5.8 の地震があった。その時震源に近い原子力発電所で原子炉 2 基が緊急停止した」と報道された。いま原子力発電に依存する社会が見直しされようとしている。省エネルギーと自然エネルギーの普及が望まれる。



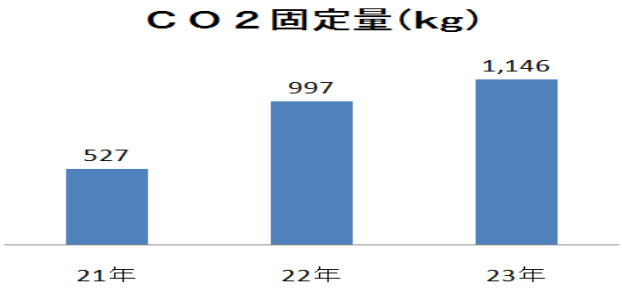
ゴーヤの葉影は涼風の通り道

８月５日（金）温暖化防止ながれやまは、美田自治会及び江戸川大学の協力で、美田自治会内の各家庭におけるゴーヤカーテンの効果調査を行った。5 月 6 日の第 1 回環境講座で配布したゴーヤの苗もほとんど窓全面を覆うほど成長している。

この日は心配された台風も逸れて、朝から太陽の光がまぶしい中、美田自治会館を出発、各家庭を順番に回っていった。美田自治会では温暖化防止として「グリーン・ぐりーん大作戦」を実施、地域内の緑のカーテンとぐりーんバスの利用を推進して、環境省主催の「ストップ温暖化（一村一品）第作戦 2010」で環境大臣賞「優秀賞」を受賞している。

一戸建ての立ち並ぶ美田地域の各家庭の今年のゴーヤも窓際の涼しさを演出している。Ｓさんは「朝晩の水やりはたいへんだけど、子供と同じ、手をかけるほど可愛さが増してくる。そして節電の役に立ち、ゴーヤの実は栄養に富んだ食材となる。この夏、ゴーヤの手入れがたのしい」とおっしゃっている。調査隊は 3 班に分かれて、各家庭のゴーヤカーテンの面積、気温、ゴーヤカーテンの表側と裏側の温度、葉の表面温度など細かく記録した。

葉の表側と裏側の温度差は、多い家は 4 度も差があったが、概して内側はひんやりしていて、ゴーヤカーテンの蒸散効果の大きさを改めて感じた。



3年間の温度測定結果

年度	測定日	状態	密集度	蒸散効果	
		気温(℃)	表裏温度差	表面-気温	表面-外側
21年度	2009年8月21日	30.8	-0.9	-1.5	-2.2
22年度	2010年8月5日	34.1	-2.0	-1.7	-2.8
23年度	2011年8月5日	32.2	-1.9	-4.4	-7.4
	平均	**32.4**	**-1.6**	**-2.5**	**-4.1**

会員募集

かけがえのない地球が危機にあります。地球を守るということは私たちの身近な生活を守ることです。私たちと一緒に活動しませんか。

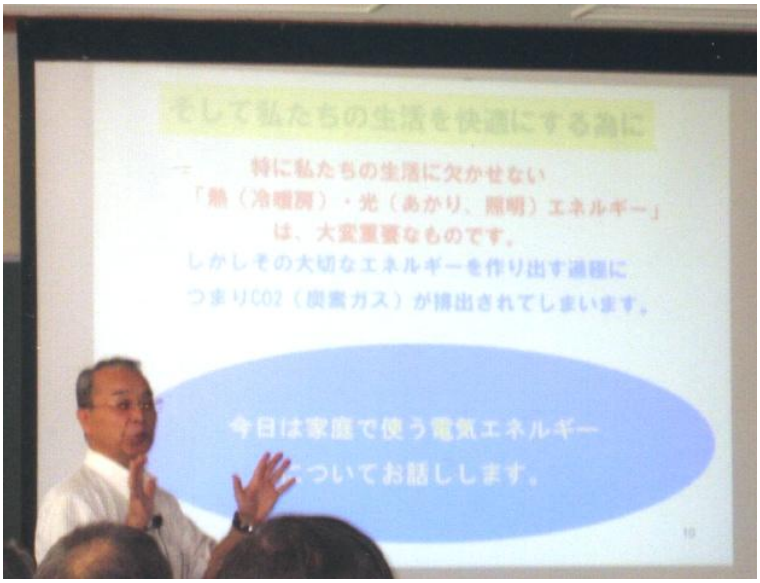
申し込みは事務局春田まで　Tel・Fax：04-7154-6309　Mail：　iharuta@hotmail.com

第2回流山市　市民環境講座」

７月 10 日（日）流山市生涯学習センターにおいて第２回市民環境講座が開催された。3 月 11 日の東日本大震災に続く福島原子力発電所の事故は電力不足だけでなく、放射能問題、子供たちへの健康問題、畜産や農作物の問題など多くの課題を残している。今回の講座は、「ますます暑くなる地球、この夏の電力不足にどう対処していくか」をテーマに温暖化防止ながれやまの菅原英雄氏の講演であった。

今からできる節電講座

講師　温暖化防止ながれやま　菅原　英雄



今夏は、震災の影響で電力不足のため「15%の電力削減」をしなければ停電が起きてしまう。このことを少しでも知ってもらうために今回、一般市民の方々にお話しする機会をいただきました。

大切な電気エネルギーを節約しながら快適に生活するためには、まず家庭内の電気の使用状況を「見える化」することです。そのためには電力会社からの「電気ご使用量」のお知らせについて、しっかり理解する事が重要です。現在の日本国民は「電力多消費経済・生活社会」が当たり前になってしまっています。この方向転換として

① 感覚からの「省エネ」の脱皮　② 節約して使う電気「節電」への移行
③ 断る電気の「断電」への行動　④ 大切に使う「切電」への心がけ

これらへの行動がこれからのライフスタイルに欠かせないと思っています。特に照明の明るさについては日本の家庭は世界一だそうですが、これからは目の健康のため【光害：ひかりがい】にも適度な照度のもとで使用することが大切です。

液晶 TV、パソコンの液晶モニター等を使用する時は、特に照度を落として使用する等の心がけが大切です。今後も機会がありましたら、大切に使いたい電気の心がけについて多くの方々にお話ししていきたいと考えております。

お土産のすだれに大喜びの参加者（写真：右）

森はCO2を吸収する

2011 年 7 月 15 日、アメリカ農務省森林局はユド・パン博士らの「森は CO2 を吸収する」という研究成果をアメリカ科学誌『サイエンス』に発表した。2007 年までの 18 年間調査で、化石燃料の燃焼で排出された CO2 の約 6 分の 1 を吸収しているという。

海も大きな CO2 吸収力を持つが、森林など植物の光合成による CO2 吸収力については評価が定まっていなかった。米農務省のパン博士らは世界の 95%の森林を調査し、統計モデル等を用いて吸収量をはじき出したという。

その結果、森林以外の植物の CO2 吸収量はほとんど無いに等しいのに対し、森林が大きな役割を果たしていることがわかった。今回の研究は森林に多大な CO2 吸収量が期待できるが、一方気候変動や伐採によって、その役割が大きく損なわれる可能性も多いことを警戒している。

最近の日本では、開発の名のもとに森はどんどん減少している。また、人の手の入らなくなった荒れた山や森はたびたび土砂災害を引き起こしている。

「都心から一番近い森の街・流山」いま、森には地球温暖化を防止という重要な役割が見出された。地球にとっても流山にとっても市野谷の森は貴重な森である。（朝日新聞、2011 年 7 月 20 日）

温暖化防止ながれやまの出前講座
いつでも、どこでも指定の場所へ出向いて、環境講座を開催します。

おもと会

ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑと自治会のふれあい会

秋の市民環境講座のご案内

第３回市民環境講座

～太陽光発電＆省エネ～

電気を自分で作ろう

日時　　2011 年 9 月 10 日（土）　　13 時 30 分～15 時 30 分
会場　　流山市初石公民館　２階ホール
プログラム
　太陽光発電と省エネの実践報告　　NPO 太陽光発電所ﾈｯﾄﾜｰｸ相談員　新美健一郎
　太陽光発電取り扱い各社の説明　　ヤマダ電機、ニチワ　京和ガス
　流山市の太陽光発電設置奨励金について　　流山市環境政策課　寺門主査

　＊ダイナモＬＥＤライト進呈（先着 100 名様）

第４回市民環境講座

「緑のカーテン普及・成果報告の集い」

日時　　2011 年 10 月 9 日（日）　　9 時 30 分～11 時 30 分
会場　　南流山センター　２階ホール
プログラム
　緑のカーテン写真コンテスト・ゴーヤレシピコンテスト表彰式（市長表彰）
　緑のカーテン成果報告　　南流山自治会（山崎会長）
　　宮園自治会ふれあい会（松本会長）
　　美田自治会（杉浦副会長）
　講演「ゴーヤカーテン普及構想」松島英雄（ゴーヤカーテン普及促進協議会長）
　ゴーヤカーテン成長記録表彰
　講演「ゴーヤレシピはおいしいよ」須貝千春（Riseup）
　ゴーヤレシピ試食会（ゴーヤとナッツのカリカリ醤油煮、中華炒め、お茶ほか）

この夏は、流山市内を歩いても、ゴーヤの茂みの揺れる家が多かった。市民意識の結果、無事に電力不足の夏は過ぎていこうとしている。まだ原発問題は終わってはいないが、これから冬、エアコンにかわって、石油ストーブの出番が始まるだろう。灯油の高騰も心配だが、石油ストーブは CO2 の排出が多い。（石垣幸子）